

高齢者施設における H I V陽性者支援の実践

社会福祉法人白寿会

特別養護老人ホーム白寿苑

ケアワーク担当係長 岡田美香

看護担当課長 山内恵美

相談員（施設長代理） 瀬田洋志

特別養護老人ホーム白寿苑への入所まで

①

▶ HIV陽性者の置かれている現状は・・・

★医療の発達、進歩からHIV感染症は急性期疾患から慢性期疾患となった。



★長期療養が必要となり、加齢に伴っての老いや障がいと向き合うことが必要となった。

特別養護老人ホーム白寿苑への入所まで

②

▶ しかし・・・

施設や地域においては「H I Vへの恐怖感」が強い

★地域（在宅）で介護サービスを提供する事業所が少ない。

★入所系施設（特養等）では、受け入れた施設はゼロという現状。



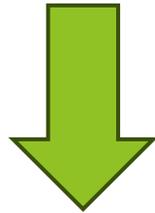
正しい知識の普及啓発が必要

特別養護老人ホーム白寿苑への入所まで

③

～正しい知識の普及啓発のために～

- ▶ 大阪市保健所から大阪市老人福祉施設連盟（市老連）へ受入れ依頼



- ▶ ・市老連加盟施設 施設長対象研修
- ▶ ・市老連加盟施設 施設職員対象研修
- ▶ ・受入候補施設（特養白寿苑）全職員対象研修

特別養護老人ホーム白寿苑への入所まで

④

▶ 研修受講前の職員の気持ち（アンケートより）

- ▶ ① H I V陽性者を施設入所するというイメージ化が難しい。
- ▶ ⇒脳梗塞などの病名なら経験があるので、ケアや体制について想像できる。

- ▶ ②施設の入所者や家族への説明はいるのでは？
- ▶ ⇒H I V感染症という病名からの偏見に基づくもの。

特別養護老人ホーム白寿苑への入所まで

⑤

▶ 研修受講後の職員の気持ち（アンケートより）

- ▶ ①正しい知識を持つことの重要性を実感した。
- ▶ ②偏見がある自分に気づけた。
- ▶ ③肝炎などの他の感染症と対応は変わらないことが理解できた。
- ▶ ④これまでどこの施設も受け入れができていないことに驚いた。